

スイス式トーナメントについて

1. スイス式トーナメントとは？

スイス式トーナメントでは、すべての競技者(チーム)が複数回の試合を行うが、総当たり戦のように他のすべての競技者と試合をするわけではなく、総当たり戦に比べて試合数が大幅に削減される。対戦相手の決定はできる限り同程度の力量を持つ競技者同士が対戦し、同じ相手と二度以上対戦することがないように予め作られた規則に沿って行われる。全試合終了後に最も多くの勝利数を集めたものが勝者となる。1895年にスイスのチューリッヒで行われたチェスの大会で初めてこの方式が使われたことからスイス式トーナメントと名付けられている。

2. 今大会における組み合わせ決定方式

- ・各時間帯で行われる試合をそれぞれ○回戦と呼ぶ。今大会は全5回戦で実施する。
- ・7チーム参加で3シートのため、一つの時間帯に試合をできるのは最大6チームであることから、1チーム試合をしないチームが出る。試合をしないチームは自動的に不戦勝となる。

【スイス式 組み合わせ決定方法】

- ・第1回戦は既に対戦相手が決定している。(タイムスケジュール表記載の通り)
 - ・第2回戦目以降については全て下記の優先順位に基づき、対戦相手をコンピュータが自動的に決定することとする。
 - ①まだ対戦をしていないチーム同士である。
 - ②勝ち数が近いチーム同士である。
 - ③その時点で、最下位のチームは不戦勝となる。ただし、不戦勝は1チームにつき1回までであるので、それに基づいた組み合わせとなる。
- ※最下位チームが複数の場合はランダムで決定。

3. 順位決定方式

- ・5回戦を終了した段階で、下記の優先順位に基づき、最終順位を決定する。
 - ①勝ち数が多いチーム
 - ②勝ち数が同じ場合はソルコフによる
 - ③ソルコフが同じ場合はバーガー→メディアン→プロGRESS、全て同じ場合は抽選で決定

【ソルコフとは】

ソルコフとは今まで対戦してきた相手の勝ち数の総和のことである。つまり、勝ち数が同じ場合は、今まで戦ってきた相手が強い方を上位とする考え方である。

これにより、一見すると勝ち数が近いチーム同士が対戦することは上位チームにとっては星の潰し合いのように思えるが、上位チームと対戦することにより、多くのソルコフを獲得できることがメリットとなる。

また、不戦勝の場合に獲得できるソルコフは0となる。つまり、不戦勝は勝ち星が追加されるものの、ソルコフは追加されないため、大きく有利にも不利にも働くことはない。

【バーガー、メディアン、プロGRESSとは】

※そういうものなのだという程度で、覚えなくていいです。

バーガー・・・勝った相手の勝ち点の総和

メディアン・・・対戦相手の成績上下を引いた残り2つの勝ち点の総和

プロGRESS・・・各回戦の勝ち点の総和

4. 大会の流れについて

- ・スイス式の最大の特徴は、前の回戦の試合が全て終了し、その時点での暫定順位が確定するまで、次の対戦相手が決定しないことである。
- ・今大会はスムーズな進行を行うため、下記の流れで進行する。

- ①各試合の勝利チームはその試合の結果を直ちに対戦表に記入し、対戦表置き場に入れる。
- ②各回戦の全ての結果が出揃うと、コンピュータにより次の回戦の対戦カードが決定する。
- ③対戦カードが決定後、すぐに大会役員はAシート側にあるホワイトボードに対戦カードを記入すると共に、マイクにてアナウンスを行う。（暫定順位表も貼りだしておく）
- ④次の回戦で試合を行うチームについては、指定の時間の5分前までにシートへ集合する。